



# 豊中敬仁会病院だより 夏号

2021.7

## コロナウイルスについて

腎・透析科 医長（感染対策委員長） 糟野 裕子


### コロナ禍での暮らし

2019年から新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界中に蔓延し、私たちの暮らしを一変させました。コロナウイルスは、細菌や真菌とは異なり、人の細胞の中で増殖するため、感染した人から人への感染が主な感染ルートです。マスクや飛沫ガードなどの慣れない対策、また、他人と距離をとり、ふれあうことをさけるといった予防策により大変窮屈な社会となりました。外出や定期的な受診を控えることで、筋力が低下し、薬切れなど体調が悪化する人が増えています。また、受診・検査を控えることでがんの発見が遅れることもあります。症状があれば我慢せずに受診していただき、日々の運動や定期的な受診、定期検査は続けてください。

感染者数が減少するまで対策が続きますが、不安ばかりでは楽しい暮らしができません。目に見えないウイルス感染の予防を正しく理解しながら、この難儀な時代を共に乗り越えましょう。

### 当院でのコロナ対策について

院内感染予防や外来での診療方法を工夫しています。ご不便をおかけしていますが、ご協力のほどお願いいたします。

外来	入院
<p>院内入り口で、発熱や感染症の方と通常診療の方を分けて診療するため、トリアージ担当者により検温や聞き取りを行っています。また、駐車場内に発熱患者の診察や検体採取のため、外テントを設置し、検査結果まで待機いただくことがあります。CT 検査や MRI 検査も時間を分けて撮影しています。定期投薬が必要な患者さんには電話再診も行っております。</p> 	<p>当院では、高齢患者、術後、抗がん剤治療中や維持透析患者など重症化しやすい方が多く入院されており、病棟への入室は厳しく制限中です。面会制限によるご心配を緩和するため、オンライン面会をはじめた所、「様子がわかって安堵した」とご利用が増えています。予約制ですのでご相談ください。</p> <div data-bbox="842 1122 1469 1258" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【オンライン面会予約 受付時間】                      月～金曜日：平日 13時30分～14時30分                      ※翌日以降のご予約となります。                      お電話または1階受付へお越しください。</p> </div>

### 新型コロナワクチン接種について

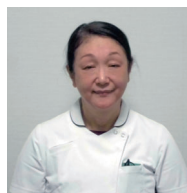
4月末より職員へワクチン接種がはじまり、並行して近隣の医療機関、大阪府下の医療従事者への接種を連日行っています。6月から65歳以上の長期入院患者さんへの接種をはじめました。

予想以上に大阪府下医療従事者の依頼数が多く、大変遅くなりましたが、6月22日から、外来患者さんへ接種を開始しております。当院かかりつけの方で未接種の方は、定期受診時に主治医にご相談ください。

## 部署紹介 3階病棟

3階病棟は、透析をおこなう長期入院の方が多し障害者病棟です。透析を受けている方がほぼ9割で、ほとんどの方が寝たきりや、介助を要する患者さんです。あとはシャント造設目的や長期の透析カテーテル挿入目的で入院される方の受け入れをしています。患者さんに寄り添い、その方に必要なケアをスタッフ間で話し合い、安心して入院生活が送れるように最適な看護を提供する事を大事にしています。

コロナ禍でご家族ともなかなか会えない状況ですが、当院ではオンライン面会を導入しており、ご要望に応じてご家族とコミュニケーションを図る機会をつくっています。病棟スタッフ一同協力して邁進してまいりますのでよろしくお願い致します。



看護師  
師長 宮本 久美子





## コロナと重症化リスク



腎・透析科医長（感染対策委員長） 糟野 裕子

人が感染症と戦うようになり、パンデミックは繰り返されています。しかし抗生剤やワクチンといった医療の発達により、多くの感染症を克服してきました。新型コロナウイルスの性質や治療法も膨大な医学研究によって日々進歩しています。

新型コロナウイルス感染症は、特異な経過をたどり、一部の方に呼吸不全にいたる重症肺炎を引き起こします。

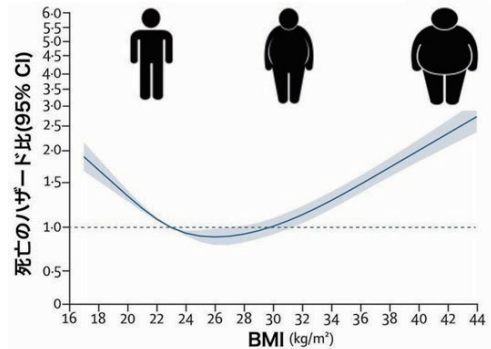
今回はコロナ感染後、このように重症化するリスク因子についてお伝えします。

### 肥満と重症化

イギリスのオックスフォード大学の研究では、20歳以上の約700万人を対象に解析が行われ、BMI 26前後が最も死亡リスクが低く、BMIが高くなるほど（肥満傾向となるほど）死亡リスクが高くなります。ただし、BMIが低い人も死亡リスクが高くなり、痩せすぎもよくないという結果です。

### 新型コロナ感染症で重症化しやすい人は？

高齢者や、基礎疾患の中でとくに高血圧、肥満、糖尿病、慢性腎臓病をもつ人が重症化しやすいと報告されており、また複数の基礎疾患（喘息、肥満、糖尿病、慢性腎臓病、心血管疾患、脳卒中の既往、慢性閉塞性肺疾患）をお持ちの方が入院と死亡リスクが高くなると報告されています。

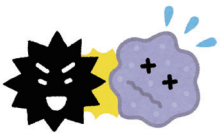


BMIと新型コロナによる死亡との関係  
(DOI:https://doi.org/10.1016/S2213-8587(21)00089-9より)

年齢および基礎疾患ごとの新型コロナの重症化リスク

18-29歳と比較したリスク	0-4歳	5-17歳	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-64歳	65-74歳	75-84歳	85歳以上
入院	4倍 低い	9倍 低い	1倍	2倍 高い	3倍 高い	4倍 高い	5倍 高い	8倍 高い	13倍 高い
死亡	9倍 低い	16倍 低い	1倍	4倍 高い	10倍 高い	30倍 高い	90倍 高い	220倍 高い	630倍 高い

基礎疾患とは喘息、肥満、糖尿病、慢性腎臓病、重度の肥満、心血管疾患、脳卒中の既往、COPD(慢性閉塞性肺疾患)を指す  
年齢・基礎疾患による入院・死亡リスク (CDC 資料より)



## 部署紹介 透析室



透析医療は医師、看護師、臨床工学技士を中心にチーム医療に取り組み、患者さんに最適な医療と安心感を感じていただけるよう、万全の体制を整えています。透析だけでなく、血漿交換、LDL 吸着、潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法、その他様々な特殊血液浄化を行っております。急なバスキュラーアクセスのトラブル時にも、当院にてPTA（経皮的血管拡張術）、血栓除去など可能な限り迅速に対応いたします。また、シャント作成から透析導入、外来透析（豊中けいじん会クリニック）までをスムーズに移行していただけるよう、患者導入指導も充実しております。

現在は透析技術認定士を中心としたバスキュラーアクセスチームを結成し、質の高い医療提供に努めるとともに、地域連携室、医療相談室と連携し、患者さんが安心して透析生活を送れるようサポートしています。



臨床工学技士  
主任 杉原 尚枝





## 透析患者のシャントについて



腎・透析科副部長

透析センター長 上原 満

透析患者さんは、基本的に二本の針で表面の血管を穿刺し、一方のラインで脱血し、浄化された血液をもう一方のラインで返血することで透析を行っております。

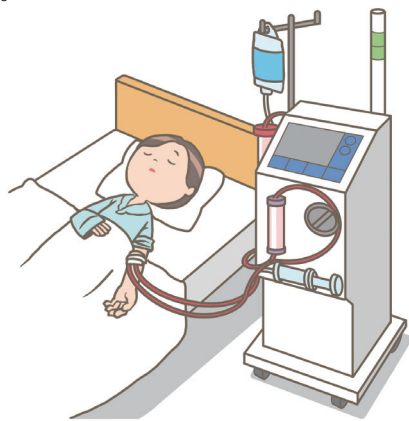
しかし、透析時には1分間に約200ccほどを脱血し続ける必要があるため、通常の皮下に見える皮静脈の血流では間に合わず、透析することができません。

このため、透析患者さんはシャントという構造を外科的に構築する必要があります。

これは動脈の血流を一部借りて皮静脈に流し、その血流を捕まえて透析を行う方法で採用されています。

多くの場合は、両手いずれかの前腕（手首の近くで造設されることが多いです）で、皮静脈を橈骨動脈か尺骨動脈の横に吻合して行われます。血管がなかったり細かったりして自己血管でシャントが造設できない場合は、人工血管を留置したりカテーテルを留置する方法もあります。

よく見られる合併症としてはシャント血管の狭窄があり、酷い場合には閉塞し透析の継続ができなくなることもあります。



シャントは透析に絶対必要なものであり、透析患者さんの生命線とも言えます。

従ってシャントの管理は透析を安全に行うに当たり非常に重要で、普段からご自身でも手を当てたり聴診器を当てたりして確認することが必要です。

当院では自己血管シャント造設術、人工血管留置術、長期透析カテーテル留置術などを行っております。

その他、シャント血管の狭窄や閉塞などに対応する日帰りの血管拡張術も行っております。提携透析クリニックや近隣の透析クリニックからの要請に対応しており、透析患者さんが長く、安全に透析を継続できるよう、努めております。



## 今回のCooking パエリア



外科・手術部部長 杉本 聡



### 記念すべき第1回目はパエリア

パエリアは私の大好きな料理。

パエリアといえばスペイン料理の代表格です。実際に現地に行っても、食事できる場所ではパエリアを出してくれます。具材には違いはありますが、私たちが日本で食べることのできるパエリアによく似ています。

### パエリアとは

定義というものはないと思いますが、私なりの解釈を少しお話しします。

パエリアはアラブ人がスペインに持ち込んだといわれています。そのため宗教上の点から鶏肉を使用することが多いです。豚肉は勿論、牛肉もあまり使われないような気がします。

スペイン内でも、地方によって具材は様々です。兎肉やカタツムリを使うところもあるようです。結局具材に定義はないということかもしれません。

私もスペイン人ではないのでわかりませんが、おそらくおいしい出汁を取って、それをお米にしみこませることが最も大事だと感じています。現地のパエリアはどれも味の濃さが印象的でした。

作り方などについては動画にてご覧ください。  
いたって家庭的な料理ですが、皆さんも楽しんでいただければ嬉しいです。  
(QRコードからご覧ください)





北原医院 院長 北原 健志

TEL:06-6856-1015

<https://g-kitaharain.p-kit.com/>

北原医院は平成5年の開業です。医者になってから46年となり、開業医の期間が一番長くなっています。患者さんとは何十年にわたるお付き合いとなりましたが、世間知らずの私にとっては人生の先生です。毎日患者さんとスタッフに囲まれて楽しくやっています。趣味は鯛釣りです。6年前に福井県で1日で釣った90cm、84cm、80cmの3尾の釣果が密かな自慢です。毎年の年賀状には釣った鯛の写真を載せます。

本年4月からは息子まで豊中敬仁会病院で勉強させていただいています。今後もさらにお世話になります。よろしくお願いいたします。



小野クリニック 院長 小野 幸一

TEL:06-6868-0955

<https://onocl.jp/>

当院は豊中市曾根に1991年開業いたしました。標榜科目は内科、小児科、呼吸器内科、消化器内科、アレルギー科です。総合内科専門医、呼吸器専門医、アレルギー専門医、感染症専門医、糖尿病専門医が在籍しております。

以前より豊中敬仁会病院には上部・下部消化管内視鏡検査や、CT、MRI検査等で大変お世話になっております。特に消化管内視鏡検査では、いつもの確なご加療、お返事をいただき、CT、MRI検査等では迅速に所見をつけていただいております。微力ながら地域医療に貢献していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



山本内科クリニック 院長 山本 直子

TEL:06-6846-3792

<https://yamamotonaikakurinikku2.jp/>

2019年11月から主人のクリニックを継承し、内科一般の診療をしております。急な症状の時に、豊中敬仁会病院には速やかに検査していただき、安心して日々の診療が行えており、大変感謝しております。当院は、患者様の症状をよく聞き、よく考えることを大切にしています。スタッフも皆優しく、患者様の不安を少しでも和らげ、安心して通院していただけるよう、職員一同頑張っております。今後とも、どうぞ宜しくお願いします。



堀江クリニック 院長 堀江 泰

TEL:06-6852-1600

昭和63年に本町9丁目にて開院しました。開院当初は、外科系を中心として診療してまいりました。途中から大西医師が加わり循環器を主として内科を担当、現在は外科・内科の2人態勢で診療しております。

豊中敬仁会病院とは堀江クリニック開設以来、緑ヶ丘病院時代から連携しております。連携病院として長いお付き合いとなりました。

当今、高齢化に伴い合併症が増え、病態も複雑になってきております。開業医にとって、多岐にわたって診ることがより求められ、その重要性が増してきております。当院もかかりつけ医として、より良き体制を組み、地域医療に貢献したいと思っております。

また、豊中敬仁会病院とは良好な病診連携をすすめてまいりたく思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

